

令和6年度認定

計画名	54 いわて平泉歴史文化観光地域計画
-----	--------------------

①計画目標の達成状況

目標項目名（単位）	R6			R7			R8			R9			R10		
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
拠点施設来訪者数（人）	520,000	526,134	101%	540,000	505,456	94%	560,000		0%	580,000		0%	614,000		0
計画地域への外国人来訪者数（人）	60,000	130,383	217%	80,000	147,125	184%	100,000		0%	120,000		0%	135,900		0
計画地域への観光全体に係る来訪者の満足度（%）	55	-	-	58	-	-	62		0%	66		0%	70		0
体験・周遊プログラムに係る参加者のN P S	25	-	-	27	-	-	30		0%	35		0%	40		0

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

(分析)
・目標①拠点施設来訪者数は前年度から約2万人減少し、前年比96.1%となった。これは、令和7年度において、観光統計が出ていないため断定はできないが、大阪万博や世界陸上の開催等により観光客が首都圏へ流れたことが要因で、来訪者数が減少したものと推測している。
・目標②計画地域への外国人来訪者数は、前年度から大幅に増加し、平泉の世界遺産登録後、過去最多となっている。岩手県全体でも、外国人観光客は561.4千人とコロナ禍以前のピーク（R元：464.2千人）を超える入込数となっており、R2～4年度の大幅な落ち込みから順調に回復している。国・地域別にみると、計画地域来訪者の約7割にあたる105,171人が台湾から訪れており、コロナ禍以前のピーク（R元：74,331人）を超えて、平泉の世界遺産登録後、過去最多となった。
・目標③来訪者満足度は、令和7年度に事業を開始したところであり、満足度調査は実施できなかったもの。
・目標④体験・周遊プログラム参加者NPSは、事業計画の変更により体験プログラムのテスト提供等を行わなかったため、調査が実施できなかった。
(評価)
・概ね目標を達成できた。
・目標①大型イベントに伴い、観光客が首都圏へ集中した影響による一時的な減少と捉えており、本事業の推進により今後は着実な増加が見込まれると評価している。
・目標②外国人来訪者数は目標値を大きく上回り、令和10年度136千人の目標を達成した。更なる来訪者の増加を図るため、引き続き拠点施設等の魅力増進や多言語対応、情報発信の強化に取り組む。
・目標③及び目標④はR6年度、R7年度ともに調査ができなかったことから、R8年度以降、事業効果を適切に把握しながら、来訪者等の満足度向上につながる魅力増進・コンテンツ整備等に着実に取り組んでいく。

③計画で取組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R6	R7	R8	R9	R10	事業類型ごとの実績額
1－①	平泉世界遺産ガイダンスセンター魅力増進事業	今後の事業着手に向け、情報収集や仕様検討等を行ったほか、自主事業として体験イベント等を実施	周辺資産や交通アクセス等の観光情報を紹介する映像を作成				13.411百万円
1－②	中尊寺展示充実事業	－	－				
1－③	毛越寺宝物館リニューアル事業	R7年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討及び関係団体等との調整を実施	宝物館のリニューアルに向け、ガイダンス環境整備基本計画等を策定				
1－④	平泉文化遺産センター展示充実事業	R7年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討及び関係団体等との調整を実施	壁面グラフィックの図の修正や写真の入れ替えを実施 出土遺物の三次元データを作成				
1－⑤	文化遺産体感展示充実事業	－	R8年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討及び関係団体等との調整を実施				
1－⑥	拠点施設等多言語解説充実事業	R7年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討、多言語解説文整備対象の精査及び関係団体等との調整を実施	【柳野御所遺跡】 多言語解説文10点を作成し、ウェブサイトへの掲載を実施 掲載ページの二次元コードステッカーを制作し、解説板に設置 【一関市博物館】 解説コンテンツの多言語化を実施 施設案内看板の改修				
2－①	平泉「浄土」体感シナリオ整備事業	－	R8年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討及び関係団体等との調整を実施				0.0百万円
2－①	レンタサイクル周遊ルート整備事業	－	R8年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討及び関係団体等との調整を実施				
2－②	周遊ルート普及事業	－	R8年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討及び関係団体等との調整を実施				
3－①	平泉世界遺産ガイダンスセンター 歴史文化体験事業	自主事業として写経、伝統工芸等の体験イベント開催や参加者への意見聴取を実施	3－④へ統合				0.0百万円
3－②	毛越寺 浄土体感事業	－	R8年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討及び関係団体等との調整を実施				
3－③	いわて県南地域文化発信・体験事業	－	3－④へ統合				
3－④	平和を目指した理想郷「浄土」周遊プログラム造成事業	今後の事業着手に向け、情報収集、仕様検討等を実施	R8年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討及び関係団体等との調整を実施				
4－①	「平泉（ひらいずみ遺産）」情報発信機能整理事業	R7年度のホームページリニューアルに向け、仕様や多言語対応方針等の検討・調整を実施	ホームページのサイト構成を見直し、新たなウェブサイトを構築 サイト内に多言語解説文を整備				6.771百万円
4－②	「平泉（ひらいずみ遺産）」プロモーション事業	今後の事業着手に向け、情報収集、仕様検討等を実施	－				
5－①	毛越寺 来訪者受入環境整備事業	R7年度事業着手に向け、仕様検討・調整を実施	ショーケース等の改修、Wi-Fi整備、電気設備の改修を実施				8.495百万円
5－②	平泉文化遺産センター 来訪者受入環境整備事業	R7年度事業着手に向け、仕様検討・調整を実施	出土遺物の三次元データを作成し、閲覧用のディスプレイを導入				
5－③	骨寺村荘園交流館 来訪者受入環境整備事業	－	中止				
5－④	レンタサイクル等周遊ルート環境整備事業	－	R8年度事業着手に向け、情報収集、仕様検討及び関係団体等との調整を実施				
各年度ごとの実績額→		0.0百万円	28.677百万円				28.677百万円

④事業の進捗状況に関する分析・評価

(分析) ・令和7年度中は、令和8年度実施事業を中心に、業務の仕様検討や関係団体等との調整、情報収集を行った。 ・令和8年度以降においても、計画に従って着実に事業を進めるとともに、事業効果の測定・分析や関係機関との意見交換等を通じ、事業のさらなる磨き上げを図っていく。 ・複数の事業で令和7年度から事業効果の測定を開始したため、効果の分析が困難な状況。 ・令和8年度以降も引き続き事業効果の測定を行い、効果の分析を行っていきたい。
(評価) ・事業は概ね計画通り実施できた。

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

文化観光拠点施設名 要件	平泉世界遺産ガイドランスセンター	中尊寺
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介	施設における周遊情報の発信に向け、情報発信動画制作に係る仕様検討を行った。	
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介	「『平泉（ひらいずみ遺産）』情報発信機能整理事業」におけるホームページリニューアルに向け、仕様や多言語対応方針等の検討・調整を行った。	
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介	隣接する柳之御所史跡公園内の解説板に係る多言語対応に向け、多言語解説文の整備対象や仕様等について検討するとともに、ホームページリニューアルに係る多言語対応方針等の検討・調整を行った。	
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、地域計画策定に係る調整や文化観光推進事業の検討等を通じ、連携体制の更なる強化を図った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、地域計画策定に係る調整や文化観光推進事業の検討等を通じ、連携体制の更なる強化を図った。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、文化観光に係る各種データを共有するとともに、データに基づき事業検討を行った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、文化観光に係る各種データを共有するとともに、データに基づき事業検討を行った。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びK P Iの設定・P D C Aサイクルの確立	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、計画及び事業の検討・調整を行った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、計画及び事業の検討・調整を行った。
文化観光拠点施設名 要件	毛越寺	平泉文化遺産センター
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介	「毛越寺宝物館リニューアル事業」における展示・多言語解説の充実に向け、情報収集や仕様検討、監修依頼予定の有識者等との調整を行った。	既存の展示解説について、最新の調査研究成果を踏まえ見直しを行い、「平泉文化遺産センター展示充実事業」及び「平泉文化遺産センター来訪者受入環境整備事業」における改修に向け、検討・調整を実施した。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介	「毛越寺宝物館リニューアル事業」における展示・多言語解説の充実やデジタル技術等を活用した映像制作に向け、仕様検討、監修依頼予定の有識者等との調整を行った。	「平泉文化遺産センター展示充実事業」及び「平泉文化遺産センター来訪者受入環境整備事業」における空間再現ディスプレイによる3 D展示の整備に向け、仕様検討・調整を行った。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介	「毛越寺宝物館リニューアル事業」における多言語解説の充実に向け、多言語対応方針の決定に先立ち、情報収集や検討・調整を行った。	
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、地域計画策定に係る調整や文化観光推進事業の検討等を通じ、連携体制の更なる強化を図った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、地域計画策定に係る調整や文化観光推進事業の検討等を通じ、連携体制の更なる強化を図った。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、文化観光に係る各種データを共有するとともに、データに基づき事業検討を行った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、文化観光に係る各種データを共有するとともに、データに基づき事業検討を行った。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びK P Iの設定・P D C Aサイクルの確立	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、計画及び事業の検討・調整を行った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、計画及び事業の検討・調整を行った。
文化観光拠点施設名 要件	一関市博物館	骨寺村荘園交流館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介	既存の展示解説を補完し、来館者に中世荘園骨寺村等の当館資料の価値を分かりやすく伝えるため、現在提供している展示解説アプリ「ポケット学芸員」のコンテンツの充実に向けた検討を行った。	
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介	導入済の展示解説アプリ「ポケット学芸員」のコンテンツ充実及び多言語対応に向け、事業検討及び調整を行った。	
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介	導入済の展示解説アプリ「ポケット学芸員」の解説文について、「HOW TO 多言語解説文整備（観光庁指針）」を踏まえた多言語化に向け、事業検討及び調整を行った。	
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、地域計画策定に係る調整や文化観光推進事業の検討等を通じ、連携体制の更なる強化を図った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、地域計画策定に係る調整や文化観光推進事業の検討等を通じ、連携体制の更なる強化を図った。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、文化観光に係る各種データを共有するとともに、データに基づき事業検討を行った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、文化観光に係る各種データを共有するとともに、データに基づき事業検討を行った。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びK P Iの設定・P D C Aサイクルの確立	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、計画及び事業の検討・調整を行った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、計画及び事業の検討・調整を行った。
文化観光拠点施設名 要件	世界遺産平泉・一関DMO	平泉観光協会
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、地域計画策定に係る調整や文化観光推進事業の検討等を通じ、連携体制の更なる強化を図った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、地域計画策定に係る調整や文化観光推進事業の検討等を通じ、連携体制の更なる強化を図った。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、文化観光に係る各種データを共有するとともに、データに基づき事業検討を行った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、文化観光に係る各種データを共有するとともに、データに基づき事業検討を行った。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びK P Iの設定・P D C Aサイクルの確立	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、計画及び事業の検討・調整を行った。	「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、計画及び事業の検討・調整を行った。

⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

評価者	評価内容

⑦今後の改善の方向性

拠点施設等の魅力増進及び必要な施設設備整備については、計画に沿って着実に事業を進めていく。
その他のソフト事業については、計画期間終了後も自走可能な体験コンテンツや周遊プログラム等を整備できるよう、文化庁のコーチング事業を活用しながら「いわて県南歴史・文化観光推進協議会」において、事業効果の測定や情報収集・分析、関係者間での検討・調整等を行い、事業内容の磨き上げを図るとともに、拠点施設等の魅力増進及び環境整備に係る取組の効果が十分に発揮されるよう、効果的な情報発信・プロモーションに向けて検討を進めていく。